

計画事業番号	00889	事務事業名	生活バス路線利用促進事業	担当部署	企画財政部企画課	電話	3606
--------	-------	-------	--------------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	北広島市高齢者バス利用促進助成事業実施要綱、北広島市運転免許返納者バス利用促進助成事業実施要綱				
事務事業開始年度	平成28年度	個別計画等	北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略				
〃 終了予定年度	-						
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 6 章) にぎわい・活力のあるまち	
	(第 1 節) 地方創生の推進	
	(施策 3 ) 魅力的なまちの形成	
2 対象	市民(満70歳以上で、北広島団地地区 または 東部地区にお住まいの方、満65歳以上で、平成28年4月1日以降に運転免許を自主返納した方)	
3 目的と内容	生活バス路線の維持・確保を目的に、利用者の増加に向けた取り組みを推進する。 ※平成28年度のみ地方創生推進交付金対象事業	
4 実施内容(手段)	28年度まで	・高齢者バス利用助成 ・運転免許証返納者バス利用助成
	29年度	・高齢者バス利用助成については平成28年度と同条件で実施 ・運転免許証返納者バス利用助成については、制度を一部変更(単年度利用から複数年【2年】利用可能、1乗車につき1枚の利用から複数枚利用可能)して実施

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
・高齢者バス利用助成 ・運転免許証返納者バス利用助成	・高齢者バス利用助成(1,778人) ・運転免許証返納者バス利用助成(90人)	・高齢者バス利用助成 ・運転免許証返納者バス利用助成	・高齢者バス利用助成 ・運転免許証返納者バス利用助成	・高齢者バス利用助成 ・運転免許証返納者バス利用助成	・高齢者バス利用助成 ・運転免許証返納者バス利用助成	・高齢者バス利用助成 ・運転免許証返納者バス利用助成	・高齢者バス利用助成 ・運転免許証返納者バス利用助成

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	—	平成28年度からの新規事業		
1次評価	現状継続	総合戦略に基づく事業であり、バス利用者の増加に一定の効果も出ていることから、継続して実施する。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			3,288	6,583	7,627	7,627	
事業額	直接事業費	国支出金	1,644	0	0	0	
		道支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		一般財源	1,644	6,583	7,627	7,627	
	① 合計	3,288	6,583	7,627	7,627		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30
③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
④ =②×③	2,520	0	2,520	0	2,520	0	
総事業費①+④			5,808	9,103	10,147	10,147	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 高齢者バス利用助成交付者数	目標値 実績値	人	2,200 1,778	2,200	2,200 2,200
	② 運転免許証返納者バス利用助成交付者数	目標値 実績値	人	150 90	150	150 150
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	① バス輸送人員40万人以上維持(市内完結路線) 【総合戦略設定KPI】	目標値 実績値	人	40万人以上 564,000人	40万人以上	40万人以上
	② 利用者増加率(市内完結路線) 【平成27年度を100とする】	目標値 実績値	%	100%以上 100.2	100%以上	100%以上
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	生活バス路線の維持・確保に向けた利用者増加の取組は、市が関与すべき事業であり妥当である。また、利用対象が市内完結路線である北広島団地線沿線に住む住民としているが、北広島団地地区の活性化は重要な課題であり、重点的かつ優先的な投資は持続可能なまちづくりを進めるうえで必要な事業といえる。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	平成27年度の比較すると利用者が増加していることから、一定の事業効果は現れている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	利用促進に向けて地域と連携した取組等について検討する必要がある。また、利用者からは利便性の向上に向けた要望が寄せられていることから、その取扱については検討する必要がある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	本事業は、市民のバス利用への理解を深め、バス利用へのきっかけとなることを期待した事業であるが、一方で、路線の維持・確保に向けたバス事業者に対する間接的な補助の性格も有しており、事業費削減の余地が少なくない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】

法律の義務付けあり

法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】  
(事業担当部局が評価)

民間等での実施または市民等との協働が可能である。

民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。